

しないということは絶対やめていただきたい
と思います。それは医療経済的にも非効率的
ですし、医師としては降圧薬は正確に服用さ
れているという前提で治療を行いますので、
さらに降圧薬の種類が増える可能性も否定で
きません。そうすると、さらに無駄が生じま

す。患者と医師との間の意思疎通を良くして、
お互いの信頼関係を保たなければ良い医療は
行われないと考えるのは、小生だけでしょう
か？

(渡邊有三／春日井市民病院・医師)

その他：注射の痛み

Q9

CAPD 患者です。2 週間毎にエリスロポエチンの皮下注射を受けていますが、注射の痛
みが苦痛です。痛みを軽減する工夫はないのですか。

(岡山県、44 歳、男性、原疾患：慢性腎炎、CAPD 歴 8 年)

A9

エリスロポエチン製剤を皮下注射
すると、注射液の浸透圧が組織液よ
りも約 2 倍高いので、皮下組織を刺激して痛
みを感じさせます。このため、痛みをなくす
方法はありませんが、注射の痛みを軽減す
る対策として以下のようなことが考えられま
す。医師や看護師さんにご相談ください。

- ① 注射部位にリドカイン（痛み止め）の
テープを貼ったり、リドカイン液と混ぜ
て注射します。
- ② 痛み神経の少ない部位に注射します（肘
関節伸側部）。
- ③ 室温に戻してから注射します。

- ④ 細い注射針を使用します（29 ゲージな
ど）。
- ⑤ 注射後に注射部位を冷やします（冷却後
の注射は効果ありません）。
- ⑥ 注射量を少なくし、注射部位を複数にし
ます。

注射部位をもむことは、薬液の浸透と吸収
を助けることになり、痛みが増強します。皮
下注射後は酒精綿で注射部位を押さえ、軽く
マッサージするにとどめます。

(平野 宏／腎臓病医療センター

ちゅら海クリニック・医師)